



第十三回

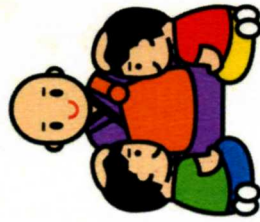
九島院 修養会

～ 浄土寺 国宝阿弥陀三尊像
播州黄檗発祥 雲松寺 ～

平成19年11月11日(日)

ご挨拶

当院第十三回修養会にご参加いただき有難うございます。
本年は、大仏シリーズ第四弾として、兵庫県小野市にある
浄土寺の阿弥陀三尊像（国宝）を拝観いたします。また、
姫路にある黄檗宗寺院（播州黄檗発祥）の雲松寺にも拝塔
致します。秋天の下、播州の地を堪能致しましょう。



合掌

住職 奥田啓知 九拜

旅程表



- 九島院 = 阪神高速・第2神明 (休憩:明石SA) ・加古川・姫路バス
8:30 9:30
- = 雲松寺拝塔 = 昼食 (割烹 森富)
10:30~11:30 12:00~13:00
- = 山陽道 = 浄土寺拝観 = お買物 (道の駅 みき)
14:00~14:40 15:00~15:30
- = 第2神明・阪神高速 = 九島院
18:00

見どころ

鶴樓山 雲松寺 (黄檗宗)

慶長六年、前年に姫路城主に封ぜられた池田輝政公が、町人町を野里威徳寺町に起こした。その際、威徳寺町にあった天台宗の曼荼羅寺を雲松寺と改名し現在の地へ移したとの記録があります。改名の由来は、昭和初期まであった大きな松の木に因んでおり、雲の如く枝を伸ばしたその松は『鶴居の松』として、姫路でも有名でありました。

開山は、安桂善公禅師です。承応元年、失火で寺は灰燼に帰しており、孫弟子の實傳道鈞によって再興されました。この實傳和尚を中興開山として、寛文六年黄檗に転派いたしました。現在の伽藍は、山門・本堂・経蔵・山王堂・竹楼・庫裡・離れ座敷からなっており、本堂・山門は江戸時代からの建造物です。



